

平成19年度 決算の概況

市民の皆さんが納める税金や国・県からの補助金は、市民生活のためにさまざまな形で使われています。決算は、それらのお金が、皆さんの暮らしやまちづくりにとどのように生かされたかをまとめたものです。

一般会計

平成19年度の一般会計決算額は、歳入が160億2,343万円、歳出が155億8,093万円で、当年度における「歳入歳出差引額」は4億4,250万円となりました。

この差引額から翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた「実質収支」は4億3,734万円となりました。

【歳入】

全体では前年度に比べて1億9,940万円(△1.2%)減となりました。これは、税源移譲により市民税が13%増加したのに対し、地方譲与税が45.9%と大幅に減少し、地方交付税についても新型交付税の導入に伴う見直しで3.5%減少したためです。

【歳出】

全体では前年度に比べて1億8,540万円(△1.2%)減となりました。厳しい財政状況のなか、限られた財源の重点的・効率的配分を行うとともに、経費の一層の削減など財政の健全化に努めながら、市民の皆さんが安心していきいきと暮らせるまちづくりのため、保健・医療・福祉、教育・文化、産業、生活環境、社会基盤の各分野について種々の施策を推進してきました。

特に、合併前より取り組んできた玉造中学校などの教育施設の整備をおこないました。

特別会計・企業会計

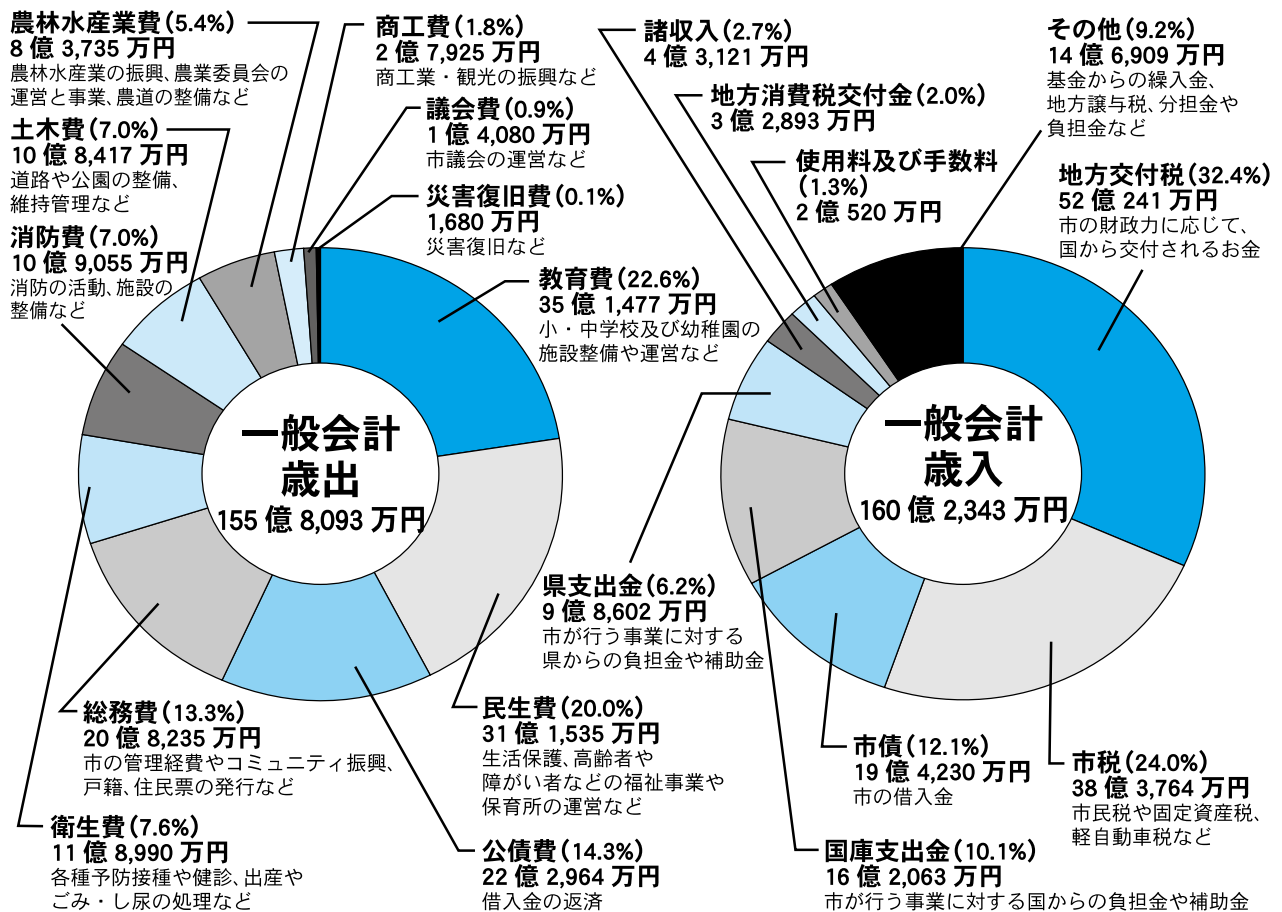
一般会計のほかに、特定の事業をおこなうための6つの「特別会計」と、地方公営企業法を適用している1つの「企業会計」があります。

7つの会計を併せた決算額は、歳入総額は137億9,396万円、歳出総額は136億3,502万円で、差引1億5,894万円となりました。

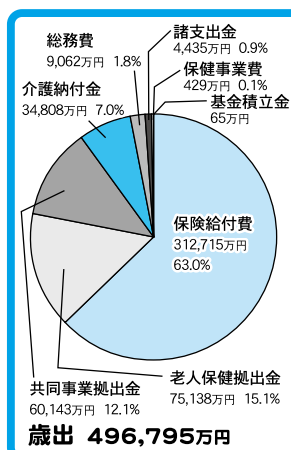
問

財政課(麻生庁舎)

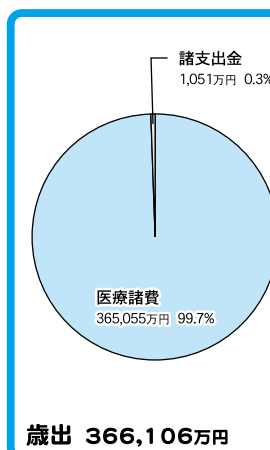
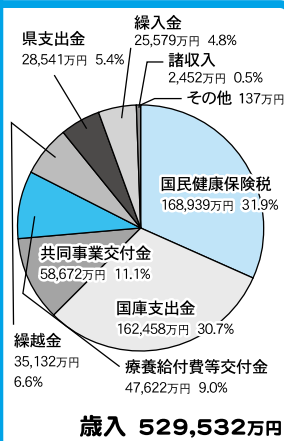
0299(72) 0811



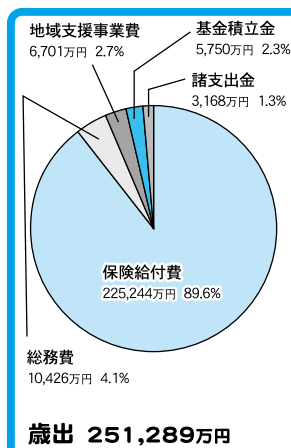
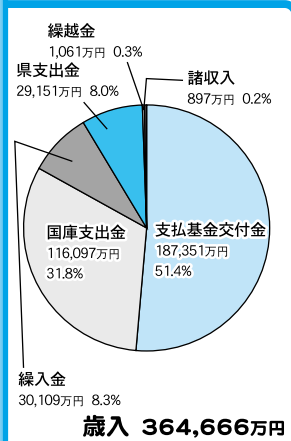
特別会計・企業会計決算額



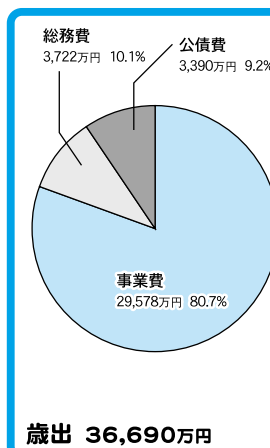
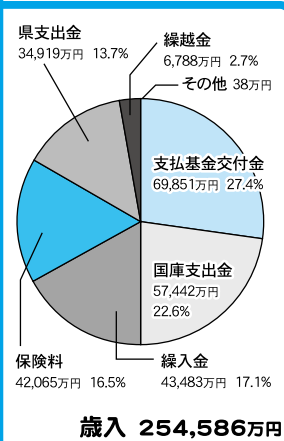
国民健康保険



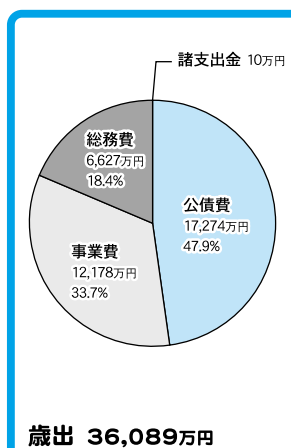
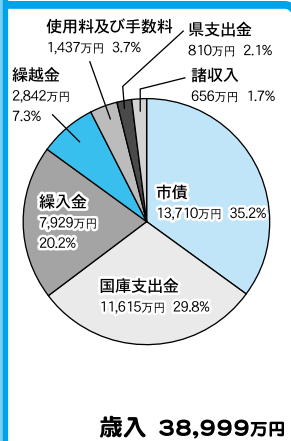
老人保健



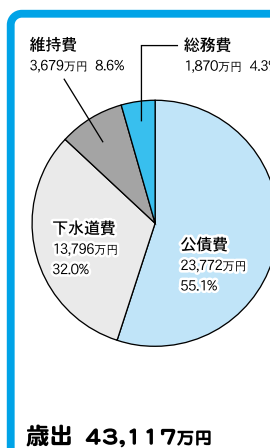
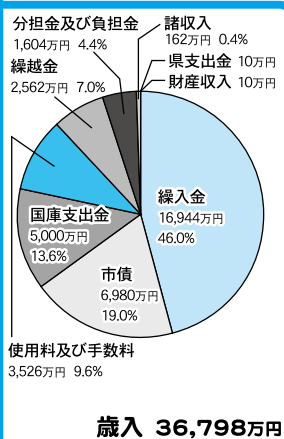
介護保険



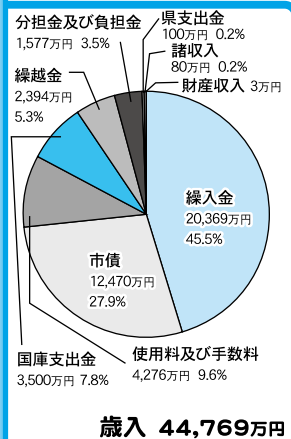
農業集落排水事業



特定環境保全公共下水道事業



流域関連公共下水道事業



水道事業会計

企業会計である水道事業は、給水などの営業面からみた収支を「収益的収支」、設備など所有財産の面からみた収支を「資本的収支」としています。

区分	歳入	歳出	差引額
収益的収支	8億 1,239万円	8億 964万円	275万円
資本的収支	2億 8,807万円	5億 2,452万円	△ 2億 3,645万円